



北の里山の会

2001,01,15

孫田 敏@ARCS

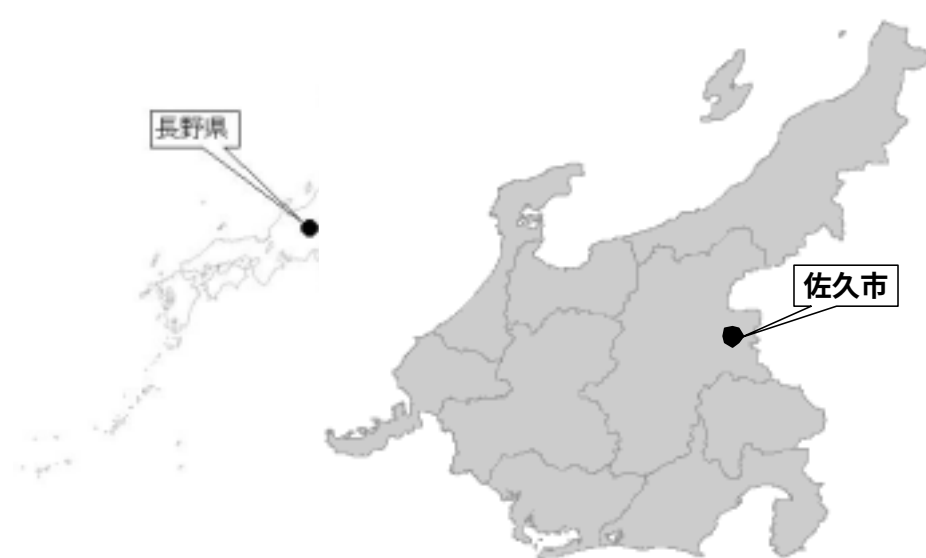
‘ 愉快的山仕事 ’ 講座 体験記

‘ 愉快的山仕事 ’ に行くまで

昨年、草薙さんに紹介されて浜田久美子さんの『森をつくる人々』を読みました。この本には森づくりの一步を踏み出した、主にシロウトの人々が数多く登場します。シロウトの人々が、プロから森づくりを教わり、技術を習得していく。なんのために？（極楽蜻蛉の読書ノート (48), <http://www.kumagaya.or.jp/~yasutani/index.htm>）と、私も思いました。実のところ、都会には酔狂な人も多いものだ、というあたりが率直な感想でしたが、でも彼女の本に登場する人たちは生き生きしていたのです。なんか面白そう、という思いも。

そして、昨年7月、LN21が主催する下刈り体験ツアーで浜田久美子さんから直接‘ 愉快的山仕事 ’ 講座の話聞く機会がありました。‘ 愉快的山仕事 ’ 講座は、詳しくは後で書きますが、信州大学の演習林を退官して森づくりの実技を教えている島崎洋路先生から、「シロウトの人々が、森づくりを教わり、技術を習得していく」場です。島崎先生のことは以前から新聞などで目にしていた、一度はその講義を受けてみたいものだとは以前から思っていました。そのとき浜田さんにぜひ参加したい由を話したところ、9月になれば案内を出すとのこと。

それから案内がくるのを心待ちにし、ついに9月末案内が。すぐに申し込みはしたものの、申込者多数につき抽選で、とのこと。ひょっとしたらダメかと思いながらさらに半月。10月も20日を過ぎたあたりにようやく、参加できますよ、という返事。満を持してANAにTELして、たまったマイレージで無料航空券の申し込み。旅費としては東京の人と同じで行って来ることができました。ただし、昼までに佐久に着くには前日にこちらを発たなくてはならないので1泊余分ですが…。



佐久市位置図

‘ 愉快的山仕事 ’ の紹介



北の里山の会

2001,01,15

表紙の言葉を実践するために‘ 愉快的山仕事 ’は始まりました。発端は単純。草刈りも薪拾いもしたことがない大人が、手取り足取り「山仕事」を学ぶ中で、そこに繰り広げられる愉しみと技や知恵への感動、そして、山が生き生きと見違える姿になることを全身で体験してしまったのです。

厳しく危険なプロだけの世界と思いがちな林業の世界も、やり方によっては別な姿がある。決して生業ではなくても、技術を学んだ素人が集まると、意外なことができる。何よりも、集って山仕事に汗を流す人々と、のびのびと枝を伸ばして輝きはしめる木々たらが共有する不思議な充足感。そんな山での時間はめったに味わえないものでした。

「この感動を他の人たちにも伝えたい。そうすれば、日本の山の手入れ不足にも風穴があくのではないか」そう考えて、自分たちが感動した山仕事のノウハウを学べる仕掛けを考えました。

それが‘ 愉快的山仕事 ’講座です。

愉快的山仕事



素人でも山仕事はむずかしくない
《習いさえすれば》
休日の楽しみとしてやるだけでも
日本の山は見違える

《入口は‘ 愉快的山仕事 ’講座》

今、日本の山の四割を占める人工林では間伐不足で木々がひしめきあって泣いています。でも間伐なんて誰にでもできるもんじゃない—多くの人がそう思っています。表紙のセリフは、長年この間伐手遅れにメスを入れようとがんばってきた信州大学農学部教授・

島崎洋路氏のものです。農村から多くの人が都市に移る中で「いかに誰にでも山仕事ができるようにするか」を研究してきた島崎氏に、そのノウハウを学ぶ三泊四日の講座が山とあなたとのつながりの入口です。

《そして同窓会へ》

‘ ゆかいな山仕事 ’ 講座を終了した方たちは、皆「同窓生」です。年間5～6回、一連の山仕事に集う同窓会を開き、年間を通して山に関わる仕組みをつくっています。これは、山づくりが何十年という長いサイクルで地道に続けられる仕事である、ということをつまえて、年に何度かでも「多少の技術を持った応援団」という形で山づく

りの一端を息長く担いたいとの考えからのものです。

講座を受けた方たちだけで構成される同窓会のメリットは、共有する目的や知識により地元の方たちの物理的・精神的負担が軽減され、信頼感のなかでの作業ならではの安全性とレベルの向上などがあります。



北の里山の会

2001,01,15

《フィールドはここ》

フィールドにしているのは長野県佐久市の大沢財産区です。島崎氏、財産区議員、そして私たちの偶然の出会いから始まった「街の人と山の人が一緒に山のノウハウを学ぶ」という機会は、街の人にはどこかに置き忘れてきた温もりを、大沢の人たちには我が町再発見を提供し続けています。

地元の方たちから提供される旬の野菜や漬物、佐久名物の鯉やどじょう、地酒などなど。これらが親戚のオジサンを訪ねたときのようにふるまわれるホスタピリティで、大沢に集まった人たちに「第二のふるさと」と呼ばれています。

《一石三鳥作戦》

林業の長い低迷は、山に関わり山で暮らしてきた人たちの気持ちを冷えさせ疲弊させてきました。

‘愉快な山仕事’は、山を知らない方たちにノウハウや知恵、技を楽しんで学んでいただくと同時に、そうやって熱心に山にやってくる方たちの熱気を山近くに住む方たちに伝えることをも

う一つの大きな柱にしています。島崎氏から両者がともに学ぶ場をつくるのがその実現方法。

そして、結果的にいろんな人が山への理解を深め、技を身につけていくことで、山そのものが甦る。三者三様にいいことがある。名づけて一石三鳥作戦です。

‘愉快な山仕事’ではどんなことをしたの？

‘愉快な山仕事’には全国からいろいろな人が集まっています。遠くは私、札幌から。本とは福岡から来るはずの人もいたのだそうですが、急に都合が悪くなりキャンセルしたとのこと。参加した人の内訳は、東京10人、神奈川4人、埼玉1人。千葉1人、兵庫1人、長野2人。ネパール1人（この人は島崎先生のところに来ている研修生）となっています。このほかに地元佐久市から6人が参加しています。

これらの人が5班に分かれて、チェーンソーの講習や集材機の講習などを受け、実際に作業します。この辺のところはスライドで説明しましょう。

‘愉快な山仕事’ 講座



2000年11月3日(金)～11月6日(月)

—長野県佐久市大沢財産区にて—

講師 島崎洋路先生

主催 ‘愉快な山仕事’

共催 佐久市大沢財産区

後援 長野県佐久地方事務所林務課・佐久市



北の里山の会

2001,01,15

‘ 愉快的山仕事 ’ のスケジュール

1 1月3日 (金)

- 13:00 中込駅集合
- 14:00 開講式 講師・財産区紹介
- 14:30 山の見方・山造りのデッサン
- 16:30 会館に戻る

入浴

- 19:00 食事と懇親会 (2F)

- 22:00 就寝

1 1月4日 (土)

- 7:00 朝食 (1F)

- 8:30 講習出発

●なた・のこぎりの使い方

●チェーンソーの練習

- 12:00 昼食

- 13:00 再開

●保残木マーク法講読

●間伐実習

- 16:00 終了

- 16:30 会館に戻る

食事の準備、入浴など

- 19:00 食事

- 22:00 就寝

1 1月5日 (日)

- 7:00 朝食 (1F)

- 8:30 講習出発

●刃物の研ぎとメンテナンス

●集材機の使い方

●チェーンソーでの間伐

- 12:00 昼食

- 13:00 再開

●間伐と出し

- 15:00 会館に戻り、ロープワーク

- 17:00 入浴、食事の準備など

- 19:00 食事

- 20:00 島崎先生のビデオ、質疑応答

- 22:00 就寝

1 1月6日 (月)

- 7:00 朝食 (1F)

- 8:30 講習出発

●材の出し

- 12:00 さよならパーティー、昼食

- 13:30 解散

右下の図に書いていますが、各班にインストラクターがアシスタントを含め2~3名つきます。インストラクターは、島崎山造り研究所のスタッフのほか、地元財産区の議員さん、地方事務所の林務課の人、そして同窓生です。

今年で4回目ということでしたが、かなりシステマティックに動いているのがよくわかりました。

市外参加者・作業班 (全日程)

A班 ノボリさん(新築)ノ高橋さん(新築) 藤田さん(新築)ノ高橋さん(新築) ラングズさん(新築)
B班 ノ高橋さん(新築)ノ大野さん(新築) 高橋さん(新築)ノ大野さん(新築)
C班 ノ高橋さん(新築)ノ高橋さん(新築) 高橋さん(新築)ノ高橋さん(新築)
D班 ノ高橋さん(新築)ノ大野さん(新築) 高橋さん(新築)ノ大野さん(新築)
E班 高橋さん(新築)ノ高橋さん(新築) 高橋さん(新築)ノ高橋さん(新築)

食事の準備・片づけ 当番表

4日 朝食準備・片づけ
A班 B班
4日 夕食の片づけ
C班 D班
5日 朝食準備・片づけ
E班 A班
5日 夕食の片づけ
B班 C班
6日 朝食準備・片づけ
D班 E班

*夕食の準備、朝食の片づけ、3日昼と6日昼の片づけは全員で行います。

市内メンバーとインストラクターの作業班

1月3日 (金)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)
A (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	A (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	A (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	A (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)
B (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	B (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	B (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	B (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)
C (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	C (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	C (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	C (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)
D (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	D (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	D (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	D (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)
E (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	E (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	E (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)	E (インストラクター) 高橋さん(新築) 高橋さん(新築)

(新) 新築区議員さん (新) 新築区議員さん (新) 新築区議員さん